

ないと思うんです。というのは大学を教育の場という観点でみれば、ある分野に学生が集中し、他の分野に学生がひとりもいないという事態がおこることは望ましくないからです。ある程度、各分野に学生が分散することが運営上必要なわけです。

戸田 定員問題というのは、コース決定の方法なんかをつきつめて考えていくと、総科の特徴を損なうおそれがあると思うんです。というのは、結局入学時に各コースの定員を決めて、コース別にとるような方向になってしまうからです。それに各コースの定員は、一学年の人数よりもかなり余裕をもたせているので、さほど混乱しないと考えています。それに学生の方もそれなりの努力をするということ、これが根本問題です。

志村 四年間でどうしてもやりたいというものがあれば、行きたいコースに入ることも含めて、それなりに努力することじゃないかと思えますし、コースに入ることにについて特殊の勉強を課しているわけではないでしょう。



#### 要望科目は事実上のコース分けではないか？

学生M コース決定の際の要望科目というのがありますが、あれをみていると一年の時からコース別に分けないことと矛盾があるように思うのですが。

樹下 教官の方で要望科目について検討した中では、そんなにコース決定について、強いファクターになるとは考えていません。むしろ、各コースに入ってからあとで取っておけば良かったと、後悔しないようにとの配慮から挙げておいたままで、情報の場合なら、あれをすべて取れるなんて考えていません。だから、たとえ要望科目を取っていないなくても、さほど不利になるとは考えていないわけです。

志村 要望科目というのは、コースに入ってからのことを考えると、やはり必要だと思いますよ。それは社会文化にも言えることで、一年の時全く無関係なものばかり取っていて、いざ専門課程になった時についてこれなくなるから、もう一度取り直すということがよくあります。

学生M 確かに専門につながる意味での要望科目というのは必要だと思いますが、コース決定の際に、それを判定の材料とすることには問題があるように思うんですが。実際に53年度生の場合、定員を超えたこともあったわけで、今後もありうると思います。

志村 各コースには定員数(受入可能数)があり、それを超えた場合にはどうしても定員数だけに絞らなくては行けないわけで、そのために成績換算を行なうのですが、要望科目はの場合少々重きをおいて算定するというぐらいで、なにも要望科目だけで見るというのではないのです。

司会 そろそろもう時間もなくなりましたので、今日、討論しつくせなかったことに関しては、もう一度座談会を開くという事で、御了承いただき、今回の座談会を終わりたいと思います。長時間どうもありがとうございました。

× × × ×

#### — 討論を終えて —

「大学における学問研究」というテーマで等、一回生を対象に今回の座談会は開かれた。

当初座談会の三本の柱として(1)大学とは、どういう所なのか (2)広大に学ぶことの意義 (3)総科における学問研究を考えてみる予定であったが、時間等の関係で、(2)・(3)は、あまり討論されずに終わってしまった。

不十分な点を多く残してはいるが、一応今回の討論のまとめ、および解説、付記するという事で、大学の学問という側面に立って以降の事を述べる。

大学には、教育と研究という二つの役割がある。学生にとってそこに集まる目的が、社会へ出るための実用的知識や就職に向けられているのか、自分のやりたい学問を専門的に深める事に向けられているのか、もしくは、目的なく大学に入って来ているかによって、大学のとらえ方は、さまざまなものに成り得る。

今回の座談会の学生の発言からかなりの学生が、大学に目的意識をもたずに入ってきているという事が判った。

事実、大学入学以前の勉強は、学問研究への目的意識や興味からいささかはずれた位置にあると思う。

しかし、学生にとって目的意識のない大学生活は無意味であり、まして、学問研究を考えない大学生活が存在するはずもない。

今回の座談会で、印象にあったのは、高校・大学間の断絶に関して、「講義を受けたりする中で、模索していてももらうしかない。」「やりたい人が大学に来て、自分で勉強するのであって、それでなければ、大学の意味はない」と、教官側にかなりつき放した対応がなされていることである。

私も含めた多くの学生の反省しなければならぬ事は今まで、われわれがあまりにも、受け身的すぎはしなかったらうかという点である。

学科制をとっている他の学部であれば、学生は入学した時点でほとんど、将来の方向を決めている、ところが、大講座制を採用しているわが総合科学部においては、学生の方向志向は、さまざまに分れ、目的意識を持たないと、四年間の大学生活をまったく無意味に過ごしかねないのである。

だが逆に一学生として、教官側をお願いしたい事は、ぜひ講義の中で、その講義を展開する目的意識なり学問の根拠を力説して、学生をくぎづけにするくらいの迫力を示していただきたいことである。

教育には、カリキュラム風に言えば、一般教育と専門教育がある。

一般教育の目指す所には、批判力、創造力、価値判断力等の養成があげられるが、これらは、専門教育の目指す所と一致するという認識に立った所に、総合科学部の特徴があげられる。

一般教育と専門教育の一体化を具体化したのが、我が総合科学部の「学部分属制」、「単位振替」、「縦分り型カリキュラム」等である。「学部分属制」により一般教育は、学部の専門と密接に接するにいたり、「縦分り型カリキュラム」は一般教育と専門教育の接点という認識に立ったものである。三・四年になっても一年の一般教育科目が受講可能であり、一般教育と専門教育の境界が撤廃されている。だが、これらの制度も、個人の自覚次第では学問研究に非常に有効な手段を与えると同時に、他方では漠然とした安易な卒業法を与える危険をもはらんでいる。その為、学生はやはりはっきりとした目的意識を必要とするのではなからうか。

総合科学部の研究に関して常に語られるのが、学部創設の理念としての「総合的研究」、「学際領域、

境界領域」という言葉である。

現在、地域文化コースで、この点に関する議論がなされたとの情報が入ってきたが、他のコースでこのいった議論(目的のとらえ方、アプローチ法…について)が、されているのか、されていないのか、全く学生側に情報が届いていない。

新たな学問を修める総合科学部の学生として、こういった議論が53生の一部の間ではなされてはいるものの、「総合科学」を学生のみで論じることはなかなか難しい。(何か情報がありましたら『飛翔』までお願い致します。)

また、総合科学部の特徴を十分に生かす工夫というものは、(学生にとっても工夫は必要であるが)学部制度自体として、現実に実現されているだろうか。

カリキュラム等に、また、学生便覧等に、その配慮が不足している点もない訳ではない。ともかく、学問分野の壁を取りはらった総合科学部の中で、今後、群・コースの中で、群・コースを越えてもっと多くのコミュニケーションが必要であると思う。

そういった過程の中でわれわれ学生は、学生なりに幅広い視野でのとらえ方を身につけられると思う。そういった意味で、他コースに知人を持つ事は大変有意義な事である。ただし、「総合科学」という目先の言葉に惑わされず、既成の学問分野を越えた「総合科学」という認識に立ち、努力を積み重ねる事を胆に命じよう。

最後に、昨年4月に起きたコースの定員問題について触れてみたい。

大学の教育の場としての視点からこの問題をとらえると、ある分野に学生が集中し、他の分野に学生がひとりもいないという事態は望ましくない事である。しかし、研究という視点からとらえると、どうなのであろう。「俺は、一年の時は認識不足で、取



らにゃいけん単位も落としてしもうたけど、今、俺は、やりたいんじゃ、燃えとるんじゃ、どうしても、このコースに入りたいんじゃ。」競争(?)に勝つ者はいいとしても、負けた者は、一体どうすれば良いのであろうか。各人に平等の学ぶ権利はどこにあるのであろうか。競争というものは、学問研究とは質を異にするものではないのではないのか。

この事については、再度、座談会を開くという事

になった。

(あとがき)

この座談会の提案者の一学生という非常に狭い視野で、こういった大きな問題について、まとめたので、各方面からの、種々な批判が出ると思いますので、その点は、ぜひ『飛翔』までお寄せ下さい。

(文責 53生環境科学コース 中上京治)

55年度生 “ころもり男とバレンシア娘”

～意識調査～

編集部

「総科」に僕たち55生が全国から集まってきて、はや(まだ?)2ヶ月が過ぎようとしている。現時点(5月22日現在)で、僕たちは総科をどのように捉えているのであろうか、またどのような人間が総科に来ているのであろうか。それらの事を中心に、他学部と比較しながら、アンケート調査を行った。

なお、回収状況は次のとおりである。

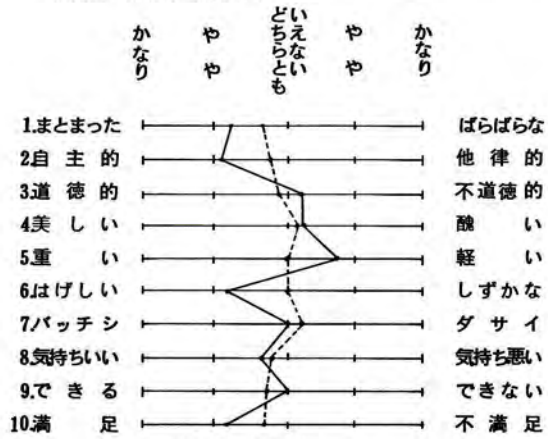
総	他	文	教	学	教	理	工	生	医	歯
93名	148	16	30	12	21	28	19	2	29	

<Q1> あなたはなぜ総科にきたのですか？

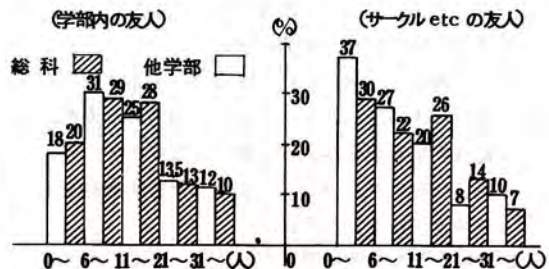
- ・1年間の選択の余裕がある
- ・共通一次の得点で
- ・ジャーナリズム関係に進みたかったから
- ・他にいくところがない
- ・名前が気に入った
- ・ユニークな学部だと思った
- ・英米について総合的な研究がしたかった
- ・私には総科しかないと思いました
- ・環境コースがやりたかったから
- ・入りやすそうだったから
- ・家に近い
- ・受験科目の都合
- ・他学部になんかあると思った
- ・女が多い
- ・一つの専門にしばられたくなかったから
- ・新しい学部に興味があったので

- ・総合的にいろいろ学べると思ったから
- ・文系科目で受験しても理系に進めるから
- ・心理学がやりたかった

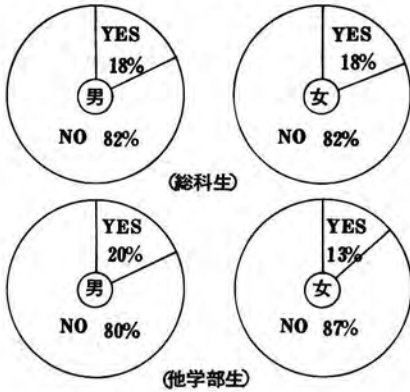
<Q2> あなたは自分の所属する学部の学生をどのように思いますか？



<Q3> 入学後友人はどのくらいできましたか？



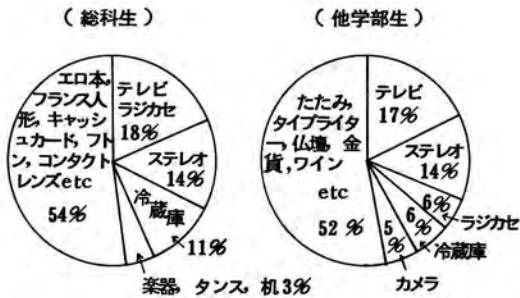
<Q 4> あなたには今、恋人がいますか？



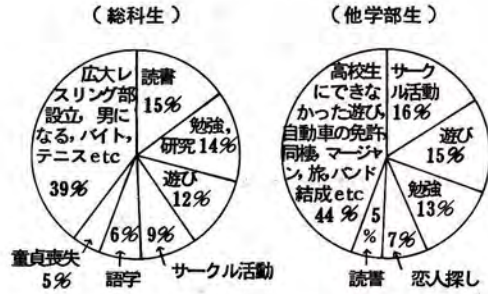
<Q 5> 研究室についてどう思いますか？

- ・きたないけど居心地がいい
- ・薄暗い
- ・行き慣れていない人は入りにくい
- ・楽しいし、みんなと交流できてよい
- ・完全に名前負けしてある
- ・冷蔵庫をなおしましょう
- ・きちゃない
- ・あそこに集まっている人は、群れのような気がしてならない
- ・汚ない、掃除しよう
- ・自治会のない総科にとって不可決。是非あってほしい存在
- ・閉鎖的
- ・収容所
- ・ダサイすな
- ・学部内のつながりが出来て良い

<Q 6> あなたの部屋で一番高価なものは？



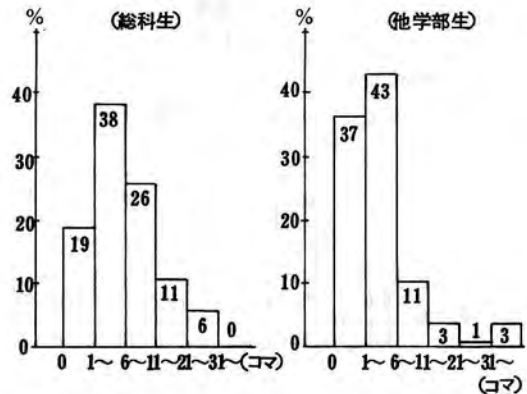
<Q 7> 高校時代に、大学に入ったらまず何をやるかと考えていましたか？



<Q 8> 今一番関心のあることは何ですか？

- (総科生)
- ・サークル活動
  - ・女
  - ・野球
  - ・国際情勢
  - ・今日の御飯は何にしようか
  - ・まるちぶる55
  - ・選挙
  - ・SF
  - ・ベストテン
  - ・彼女の心をいかにして手中に取めるか
  - ・その日その日の生活
  - ・イリオモテヤマネコとハブ対策
  - ・楽しくて単位をとる方法
  - ・ジョン・デンバーについて
- (他学部生)
- ・恋人のこと
  - ・音楽
  - ・サークル
  - ・勉強
  - ・夏休みの旅行計画
  - ・野球
  - ・六月祭
  - ・休講
  - ・山口百恵の引退
  - ・移転問題
  - ・オリンピック
  - ・カーブのV3・J2
  - ・政治情勢
  - ・合コン
  - ・クラブのやめ方
  - ・人間心理
  - ・お金
  - ・四柱推命学
  - ・女子大

<Q 9> 今までに講義を何コマさぼりましたか？



＜Q10＞ 文系・理系どちらで受験しましたか？  
(92人中)

文系	男	29人	理系	男	34人
	女	20人		女	9人

＜Q11＞ あなたの志望コースは？(87人中)

社会文化コース	14人	男11人 女3人	地域文化コース	29人	男18人 女11人
情報行動科学コース	28人	男18人 女10人	境科学コース	16人	男13人 女3人

＜Q12＞ 将来の職業は？

- ・教員
- ・ジャーナリスト
- ・コンピューター関係
- ・坊さん
- ・作家
- ・少年鑑別所の職員、又は、精神病院の事務
- ・航空会社のOL
- ・大企業の広告部
- ・弁護士
- ・市役所で大気汚染調査
- ・コメディアン
- ・テレビ朝日
- ・知的な労働者
- ・職人
- ・フリーのルポライター
- ・県庁の都市計画課
- ・心理学教授

＜Q13＞ あなたは次にあげる5つの問題について、どの程度期待して総科に入学しましたか？  
また現在、それらの問題について、どの程度満足していますか？

- |            |            |
|------------|------------|
| (入学前)      | (現在)       |
| ①非常に期待していた | ①非常に満足している |
| ②期待していた    | ②満足している    |
| ③普通        | ③普通        |
| ④あまり期待せず   | ④不満        |
| ⑤全然期待せず    | ⑤やや不満      |

A) 自分の専攻したい学問分野が用意されていること。

入学前	① 30%	② 55%	③ 9%	④ 6%	
現在	5%	27%	45%	17%	6%

B) 教育内容が総合的で幅広い人間形成が可能であること。

ること。

入学前	① 29%	② 28%	③ 24%	④ 17%	⑤ 2%
現在	10%	18%	43%	20%	9%

C) 学際領域など新鮮な内容を持つ学部であること。

入学前	① 36%	② 21%	③ 22%	④ 20%	⑤ 1%
現在	10%	17%	43%	21%	9%

D) 入学後、学部の内容がわかったのちに専攻する学問分野を決めることができること。

入学前	① 24%	② 30%	③ 27%	④ 11%	⑤ 8%
現在	12%	22%	34%	20%	12%

E) 自分の希望する進路(就職・進学etc)に有利であること。

入学前	① 10%	② 20%	③ 34%	④ 21%	⑤ 15%
現在	4%	15%	51%	15%	15%

＜Q14＞ 前号の『飛翔』を読みましたか？

